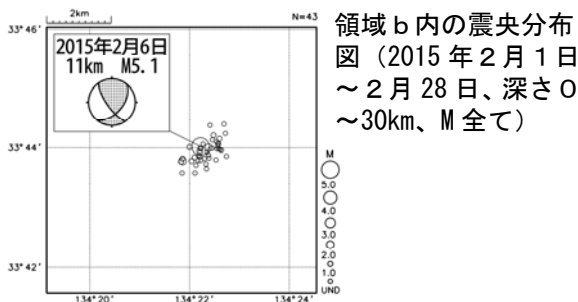
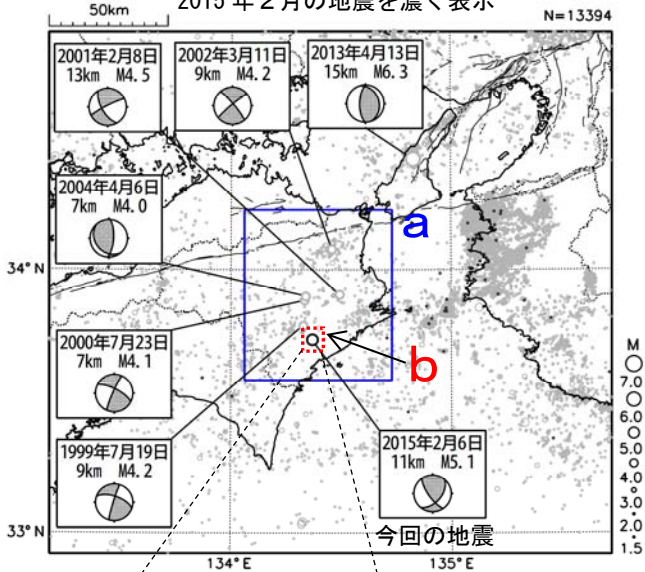


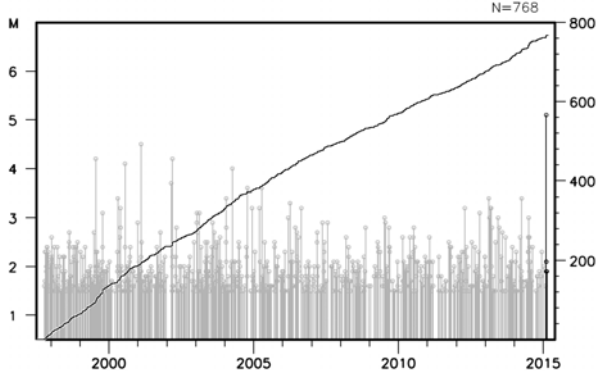
# 2月6日 徳島県南部の地震

震央分布図  
(1997年10月1日～2015年2月28日、  
深さ0～30km、M≥1.5)  
2015年2月の地震を濃く表示

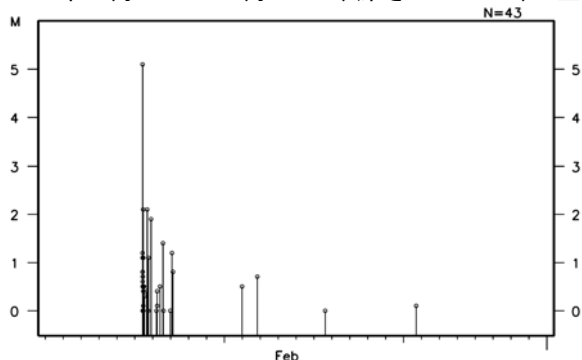


細線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図  
(2015年2月1日～2月28日、深さ0～30km、M全て)

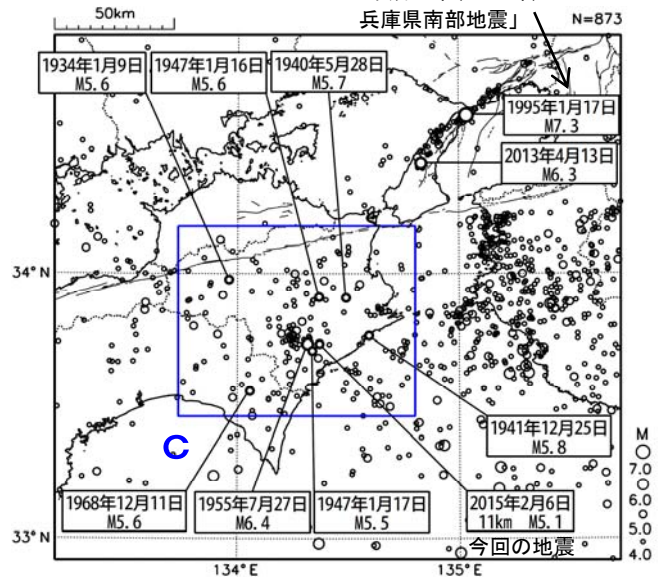


2015年2月6日10時25分に徳島県南部の深さ11kmでM5.1の地震 (最大震度5強) が発生した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。余震活動は低調であり、2月28日までに震度1以上を観測する余震は発生していない。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域a) では、M3.0以上の地震が1年に数回発生している。これまでの最大規模の地震は、2001年2月8日に発生したM4.5の地震 (最大震度4) であった。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1955年7月27日にM6.4の地震が発生している。この地震により死者1人、負傷者8人等の被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図  
(1923年1月1日～2015年2月28日、  
深さ0～100km、M≥4.0)  
「平成7年(1995年)  
兵庫県南部地震」



細線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す

領域c内のM-T図

